

次期福岡県交通ビジョンについて

1 策定スケジュール案

日程		開催回	内容
令和8年	6月2日	第2回	・次期福岡県交通ビジョンについて
	7月下旬	第3回	・令和7年度福岡県交通ビジョン2022の実施状況について ・次期福岡県交通ビジョンの基本フレームについて
	11月中旬	第4回	・次期福岡県交通ビジョンの素案について ・パブリックコメントの実施について
令和9年	1月中旬	第5回	・パブリックコメントの実施結果について ・次期福岡県交通ビジョンの原案について

2 調査について

(1) 調査項目

①地域交通の現状分析

- ・本県における公共交通網の可視化
- ・居住人口データの整理
- ・交通空白地域の可視化

②地域交通の課題分析

- ・交通関連データ（e-Stat 統計地理情報システムや国土数値情報等）の収集・整理
- ・「公共交通軸と拠点の充実・保証」、「交通空白」における移動の確保、「持続可能性・実現可能性の確保」等の観点から課題を抽出

③その他

- ・県が独自に県民ニーズ調査を実施

(2) 実施体制

次期ビジョンの策定に必要なデータ収集・分析等を行うため、福岡県交通対策協議会が事業者へ調査を委託（プロポーザル方式により選定）することとしたい。

<参考>

（令和6年4月26日『「地域公共交通計画」の実質化に向けた検討会 中間とりまとめ』より）

○現状整理パートは、デジタルデータも活用し、総花的になりがちなアンケート調査の絞込など効率化を進め、現状診断と、課題への機動的・継続的対応（アクション）により注力できる計画へ転換すべき。

※現状整理＝データや現状を整理すること（病の症状の整理）

現状診断＝現状整理をもとに課題の原因を探索・特定すること（病の原因の特定）

○公共交通の課題を可視化し、施策の解像度を高めるためにはモビリティ・データの活用が必要不可欠。